

決 議

小泉内閣の構造改革は未だに先が見えない。底知れぬ経済不況の進行にも手が打てず、企業倒産、失業、社会不安の増加など国民に強いる痛みは、忍耐の限界に達している。

医療制度改革においても将来展望がなく、目先の財政難を取り繕う為に診療報酬引き下げを強行し、患者負担増を決定した。更には、保険者機能の強化や市場原理の導入、株式会社の参入等を画策しており、今や日本の医療制度は、極めて危機的状況に追い込まれつつある。

我々は、国民の健康と生命を守る為に、重大な決意をもってこの難局を打破すべく、総力を挙げて行動を起こさねばならない。

かかる緊急事態を踏まえ、ここに左記の事項を強固に主張する。

記

- 一、根拠なき不合理な引き下げを行った診療報酬の再改定を強く要求する。
- 一、医療保険財政難の解消を患者負担増に頼ることに断固反対する。
- 一、医の倫理を崩壊させる営利企業の医療参入を絶対に容認しない。
- 一、患者のフリーアクセスを阻害する保険者と医療機関との直接契約に強く反対する。

右、決議する。

平成十四年九月七日

第九十三回 札幌市医師会定時代議員会